

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標（重点は○数字）・具体策				
I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況		夢あり幸あり道あり 生徒に思いが届いていない。	「早寝・早起き・朝ごはん」、あいさつ日本一について、家庭での取り組みを促す働きかけが必要だったか。	引き続きこの取り組みを進めてもらえばよい。
① 学校行事の活発化を図り、学校教育目標を目指した生徒活動の展開	B	強く賢くあたたかく 早くから目標をもってがんばれる生徒にしたい。		感動体験でハートづくりをしっかりとしてほしい。
2 地域・保護者との連携を図った教育活動の展開	B			職場体験を3日から5日にして働く意義を感じさせてほしい。
3 生徒の望ましい伸長に向けての教育実践活動の充実	B			
II 保護者や地域との連携に努める		HPの更新や学校だよりの発行(月2回ペース)よく実践できている。	魅力のある活動にすることによって学校に足を向くようにする。	P T Aの声を拾うにしても意見の集約が難しい。また保護者も忙しいのは間違いない。
① HPや学校だより等を通して、保護者や地域に開かれた学校づくり	A	P T A活動に基本的には協力的である。Pの声をもう少し拾えるとよい。		
2 P T A活動や学年P T A活動の充実	B			
III 確かな学力の育成に努める		ノート指導について成果を出したい。	テレビを止めて(ゲームをやめて)家庭学習の充実を一層させた	学習意欲をどう育てるかを検討してほしい。
1 単位時間のねらいを明確、ノート指導の充実を図った授業の展開	B	がんばって取り組んでいるが最終的に県平均まで到達していない。	い。	
② 学習の充実のための家庭教育の充実	C			
3 学力(標準化テストの点数)の向上への指導に努力し、基礎学力の充実	C			
IV 豊かな心の醸成に努める		あいさつはできるが、返事はもう一つである。いじめひどいものはない。すぐに対処、子どもの耐性が育っていない。	小学校からさせるようにと思い、そのように取り組んでいる。あまりこちらからやり過ぎない。	あいさつがよくできていて評判がよい。大人でも返事ができない、分からないと言えないので、継続して指導をして欲しい、親教育も含めて。
① 「あいさつ運動」の徹底を図り、「あいさつ日本一」の実践	B	「がんばり」これが弱い。何でもやり通せたという経験が少ない。		
2 生徒の「がんばり」や「思いやりの心」など豊かな心の育成	B			
3 問題行動や不登校傾向対策の充実	B			
V 健やかな体の育成に努める		学校では一生懸命やっている。しかし、不登校は減らない。ケガも多い。万が一の対応をしているので日本スポーツ振興センターへの請求も多くなる。	スクールバスの関係もあるが、もう少ししっかりやらせることも必要。長距離走大会の実施を検討する。	「お手伝いします。」と察して行動する力を育てて欲しい。
① 生徒の心身の健康を図るため生徒指導・保健指導の充実	B	本人の自主性を尊重しているが、年々弱くなる傾向がある。		
2 部活動において生徒の実態に即した活動を展開するとともに、生徒の実態にあった成果が上げられているか。	B			